

京都の未来を考える懇話会について

◇設立 2010年4月

◇目的・経緯

「京都の未来を考える懇話会」は、京都の行政、産業、大学、文化・観光、メディアのトップが30年後の京都の「ありたい姿」について語りあい、府民・市民と一緒に目指したい未来像をオール京都で熟成することを目的に設置されました。約2～3ヶ月に一度のペースで開催しています。未来の人口推移から見る京都の課題から議論をはじめ、大学や文化、東日本大震災を受けて京都はどのようなまちであるべきかなど、幅広いテーマで活発な議論を展開しています。

◇メンバー

山田 啓二	京都府知事
門川 大作	京都市長
立石 義雄	京都商工会議所会頭/京都府商工会議所連合会会長
松本 紘	京都大学総長
柏原 康夫	京都府観光連盟会長/京都市観光協会会長
池坊 由紀	華道家元池坊次期家元
白石 方一	京都新聞社代表取締役会長兼社長

◇これまでの開催とテーマ

準備会	(2010年1月)	京都の現状認識とビジョン共有の必要性を確認
第1回	(" 4月)	懇話会の発足と人口問題について議論
第2回	(" 7月)	30年後の京都の「ありたい姿」について議論
第3回	(" 9月)	「大学都市・京都」について議論
第4回	(" 12月)	「文化都市・京都」について議論
第5回	(2011年3月)	「中間まとめ」の策定と情報発信の強化の決定
第6回	(" 6月)	東日本大震災を踏まえ、30年後の京都について議論
第7回	(" 8月)	「中間まとめ(案)」について議論
第8回	(" 11月)	「中間まとめ(案)」について議論
第9回	(2012年2月)	「第一次提案(案)」について議論
記者発表	(" 3月)	「第一次提案」記者発表
第10回	(" 6月)	「30年後の京都の産業」について
第11回	(" 10月)	「30年後の京都観光」について
第12回	(" 11月)	「30年後のエネルギー・環境」について
第13回	(" 5月)	「京都ビジョン2040」を決定